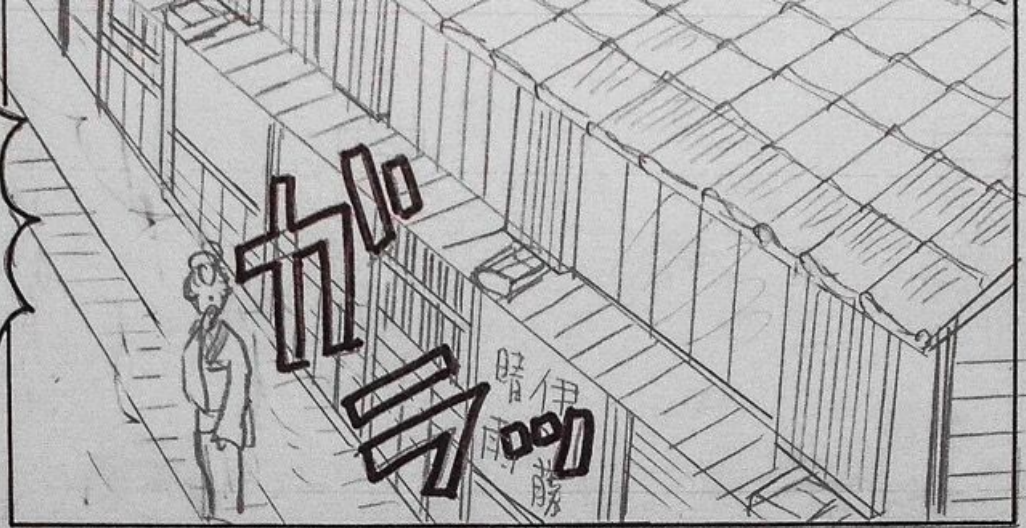


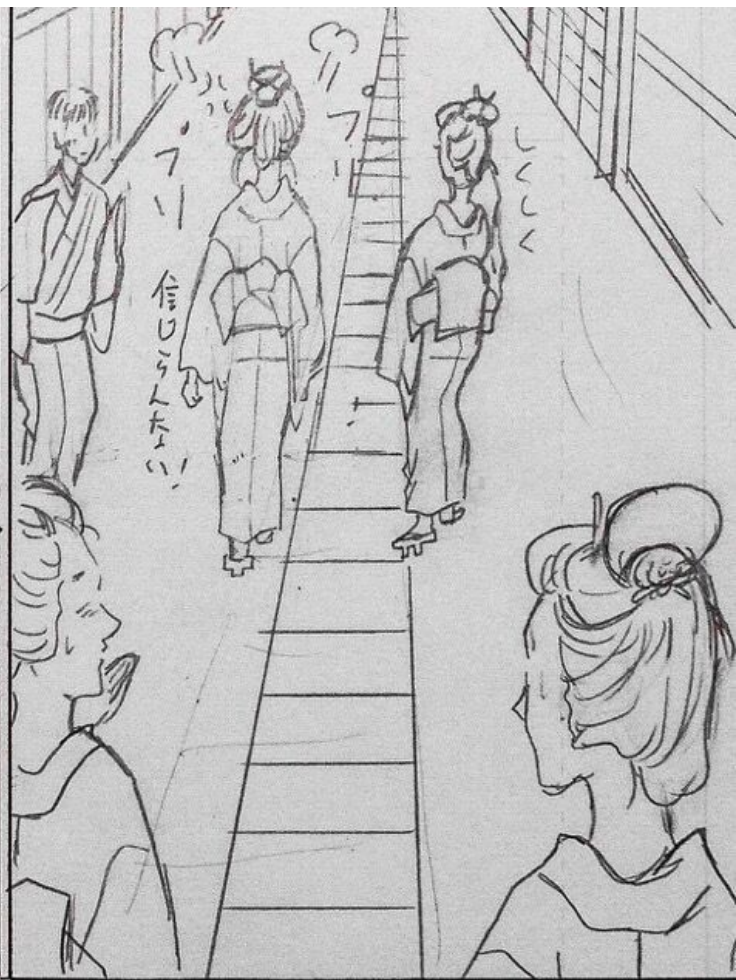
大正画鬼一代

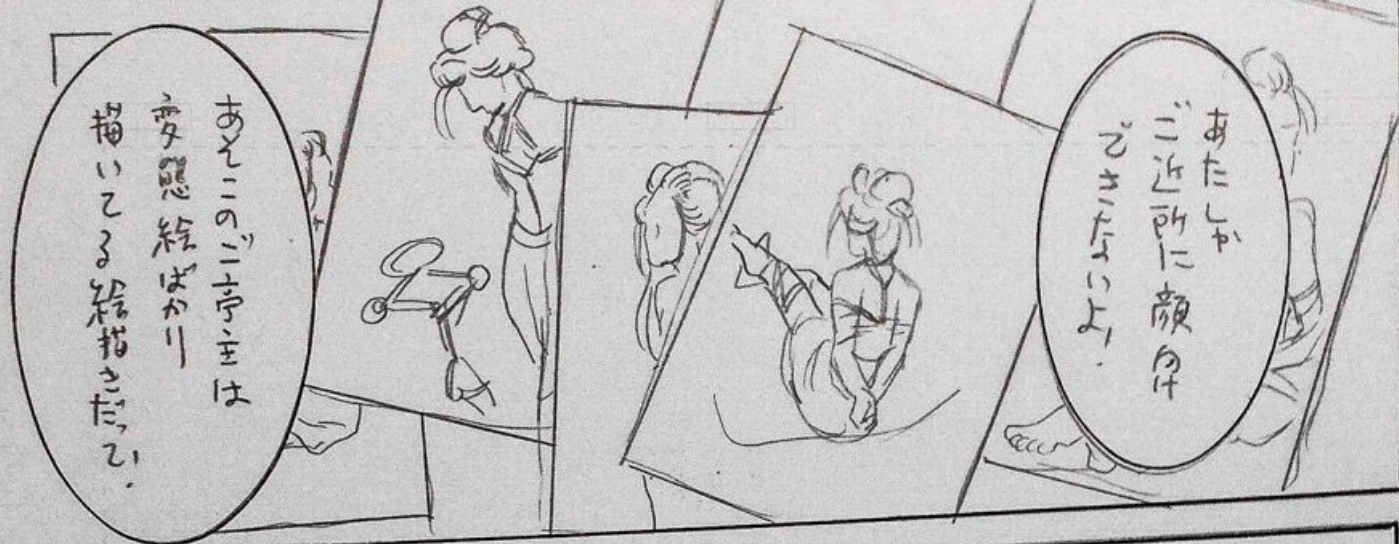
私伝・伊藤晴雨

R-18









時は大正



雲 凌 十

新しい文化が来ると
花開いてゆく時代
だったか——

東長屋で「主眼め絵」
「おふな絵」と呼ばれた
女体賢達画さ手かげる

絵に憑かれた
中年男がいた

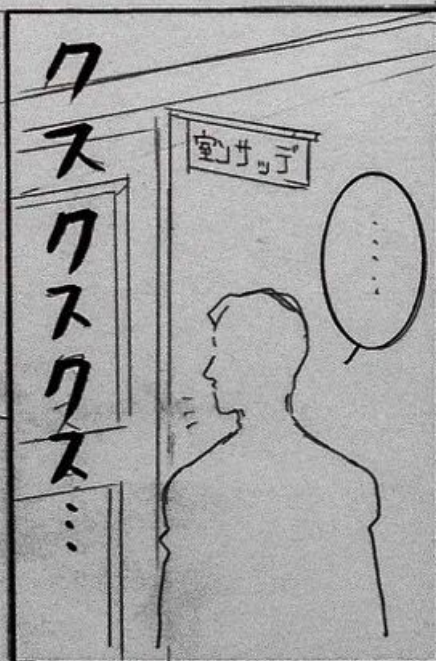
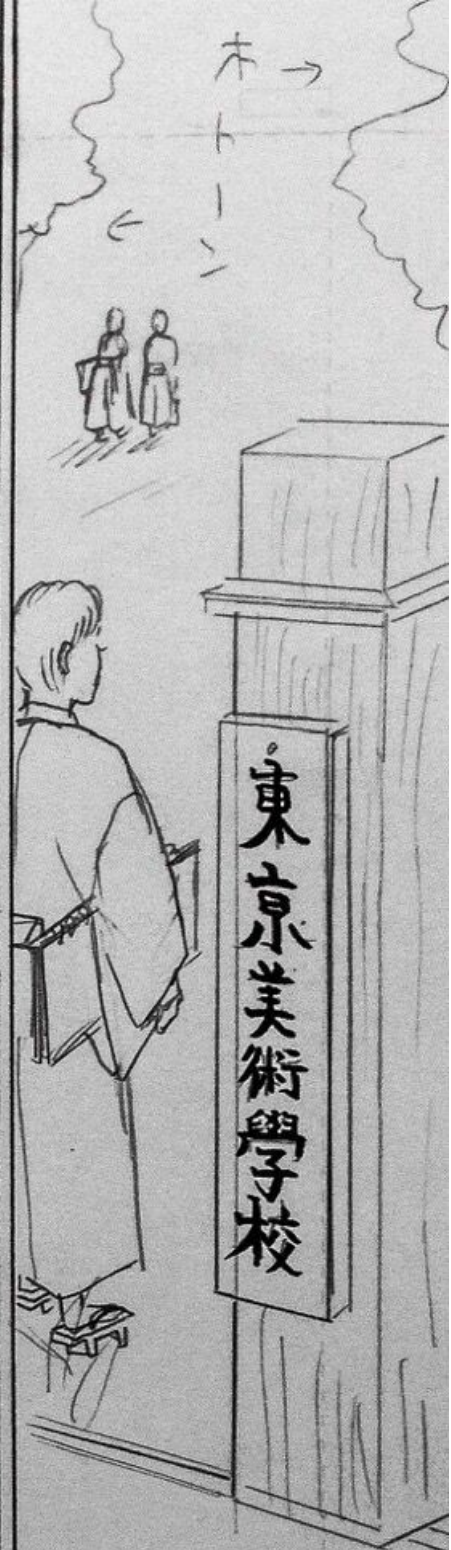
「画鬼」と呼ばれたか

江戸から明治初期に
かけて活躍した河鍋晴斎は

この男—伊藤晴雨も
まちがいたく大正の徒花
「画鬼」であった









伊藤藤晴両先生と
あつしゃてぬ モデル科は
うまいのだからど

宮崎モデル紹介所

……モザールを
縛るのよ……

どんな痛たんびす?

ごもあへまは
高いのじょうろ

あたし
行きまます

兼代せんし

ヒッ

信じらんちい!

おんちかん
伊藤先生のモデル
するんたて

ヒッ

ちよつと困った
癖があらひぬ……

ごもあの娘なら
大丈夫かもや

どういふこと?

すぐ絵描きの
女生たちとぬんごろに
なるて噂じゃない!

ふいふふ

グッ

秋田の田舎で
初めて母を
知ったのは
十二のときだった

×
ベア



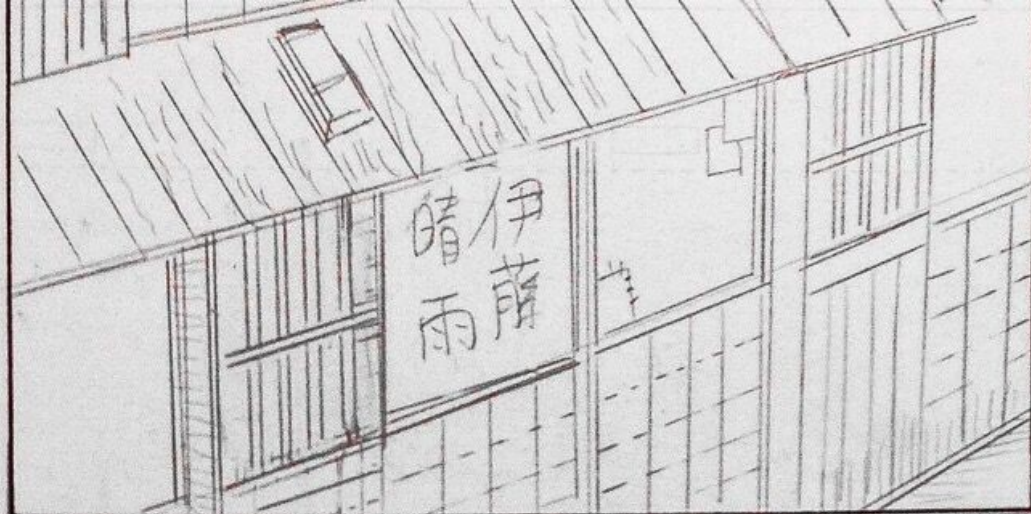
あたしを抱いた男は
云った
「おまえは妻の子だ」と

あの頃に戻るの
だけはもついや
たのよ

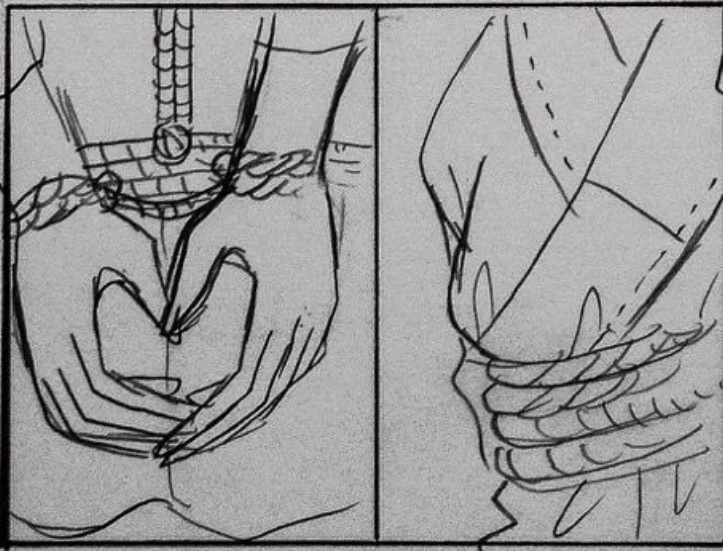


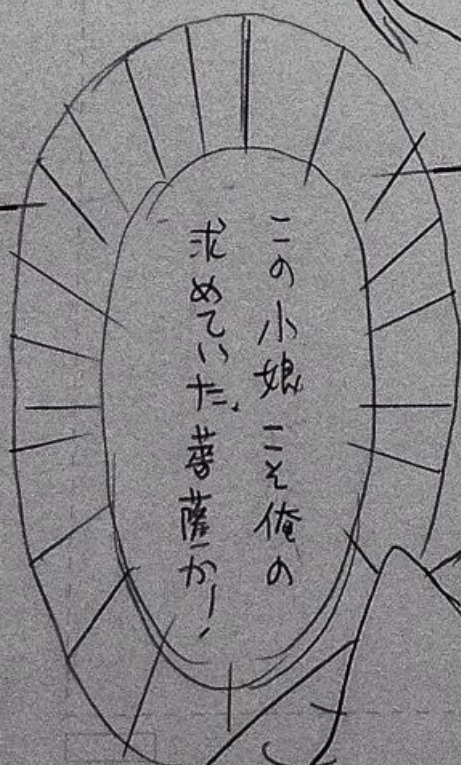
ふ見しきから
逃げるように母娘で
東京に出てきて

モデルを始めて
ようやくのさながら
楽になつてきた











描いてるときは
暗雨先生の眼はさるどい

なんぞギョウギウした眼を
した人なんだろう

すまねエな
お兼

きつく締ちまて
痛くたかったか?

ありがとう

平気よ

ごもやさしい

やさしいんだ

ニッ

ある日を境に
お兼は姿を
あらわさなくなった

×

その後も晴雨と
お兼の姿は
續いたが――



お兼は？
あいつは辞めたのか？



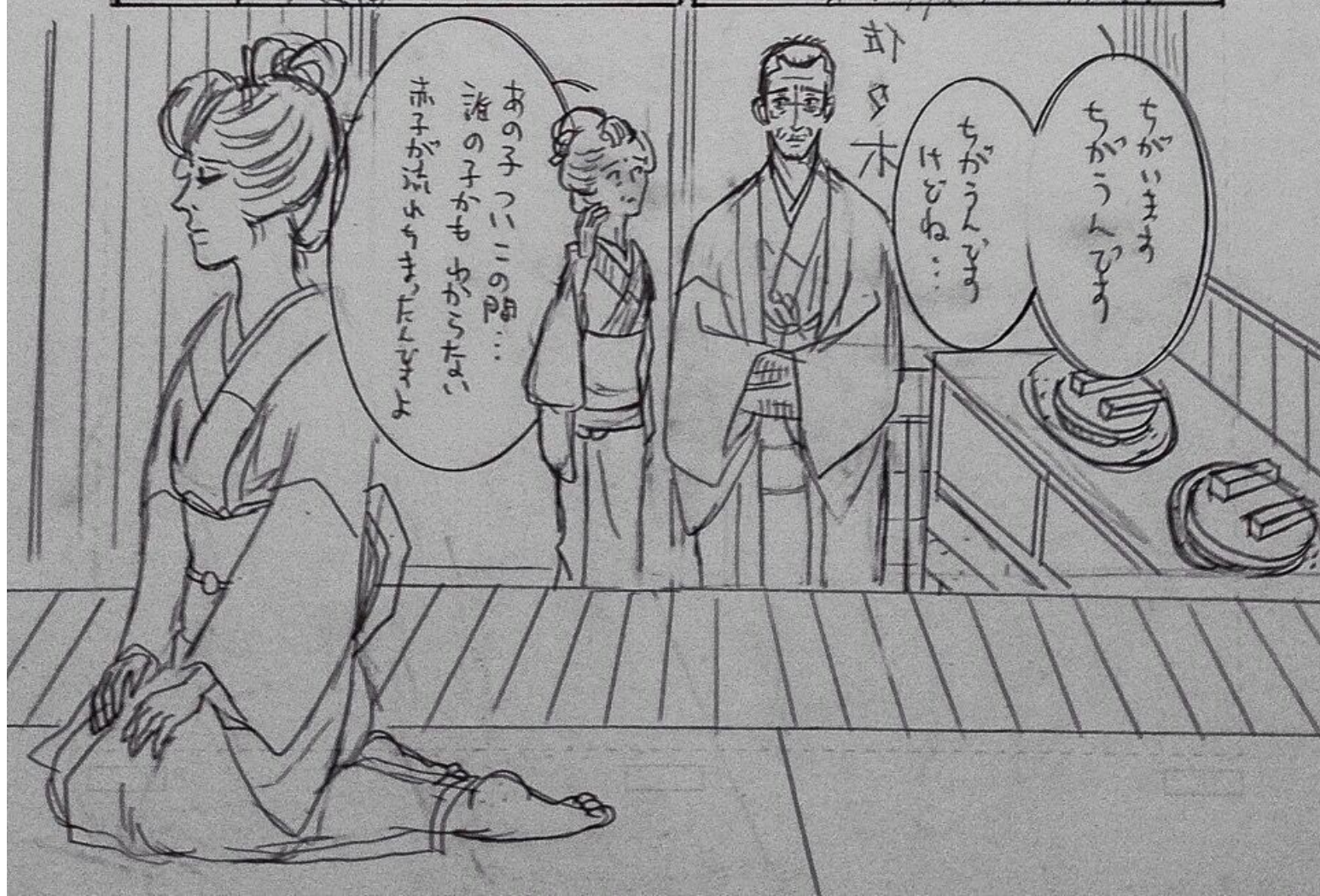
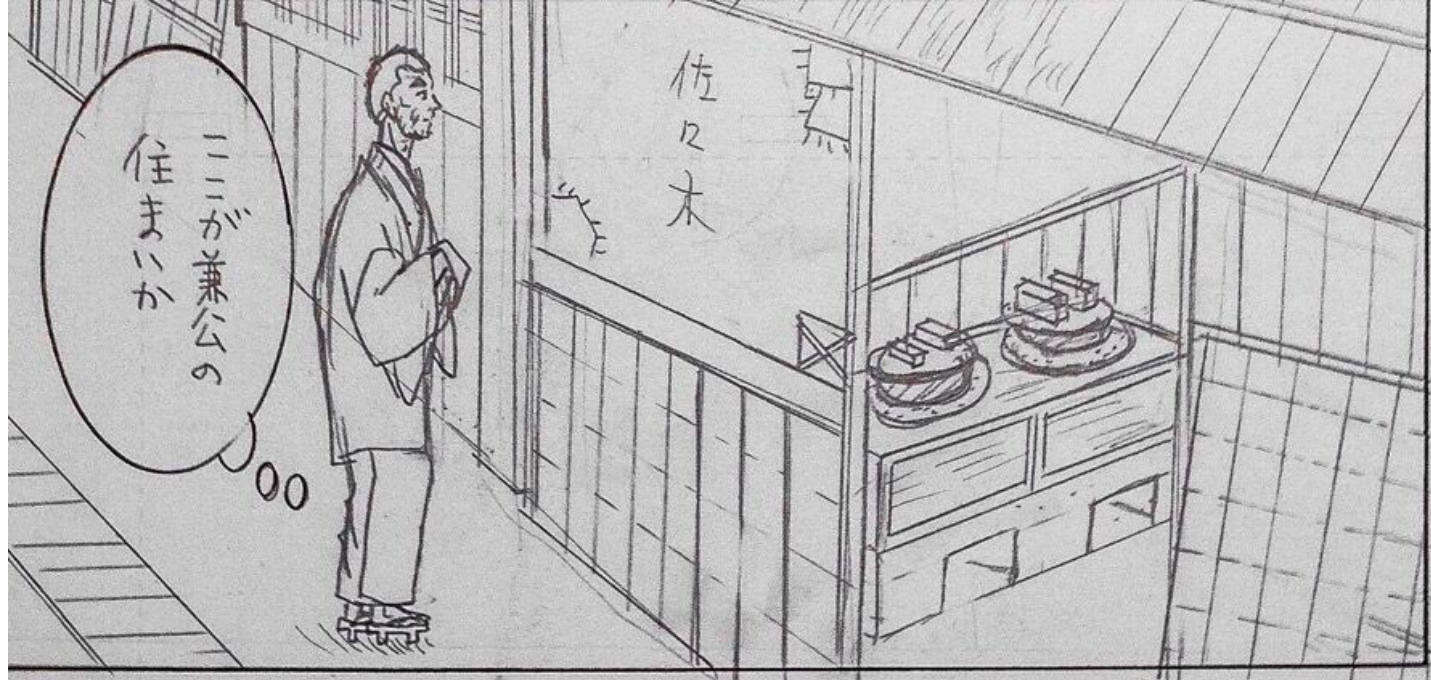
まあ…晴雨先生
直に…



辞めてません



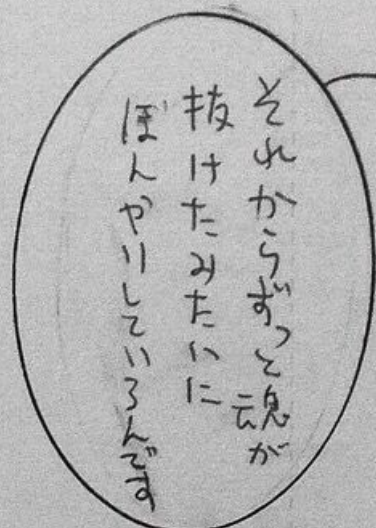
ただ今うちよこ
体調を崩して
お休みしているんです





お兼
邪魔すまぜ

オコシ
やつれたな...



それからずっと
抜けたみたい
ぽんやりして
いるんだ



お兼、

つらかったなあ、
まじかったなあ、



気がすむまで
泣きやめけ、

泣け、

ポロポロ



「つあまー」

「よー」

「よー」

「あー」

「あー」

お前がジライヤ
悪くぬエ

ただちよと

運が味方

しなかつた

だけよ

晴雨先生...





いつも晴雨先生が
友人たちを連れてこようば
いいのにね...



お母さんは
おちこちたけい

先生にはお母さん
子どももいる...
無理よ

お兼ちゃん、
探したぜ

いいけどあや子の
久木さんにあたしが
雇えるの？

モデルを頼み
たいと思ってさ

ふふふ...

ちがうちがうー
俺じゃない

竹久草子先生の
モデルさん

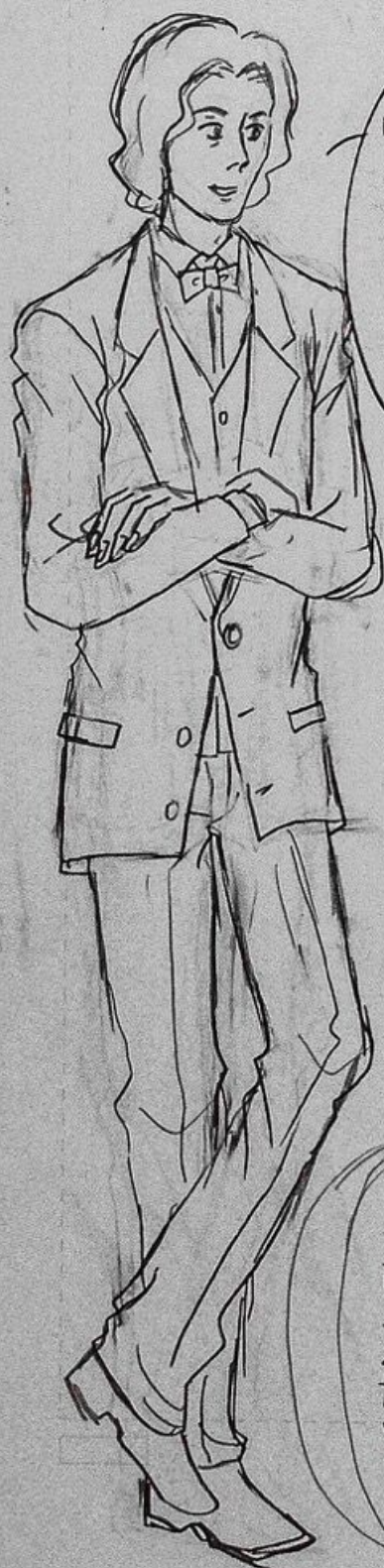
竹久ミササニ先生？

あの指輪の？



今頃は本郷の
菊宮ホテルに
滞在されているよ

←本
ト
ン



やあ、本くん
そちらの主婦が、
噂のっ。

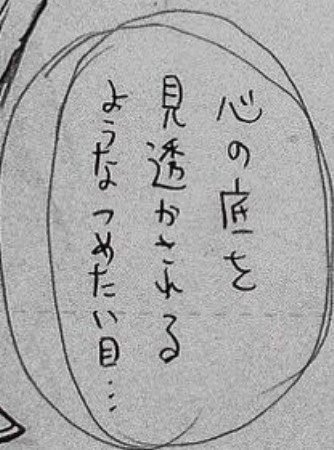
サタニヤン



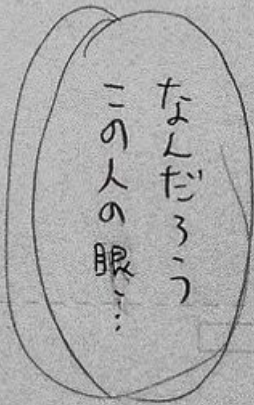
ふうん...



そうです
お兼さんです



心の底を
見透かされる
よなつめた目...



なんだろう
この人の眼...





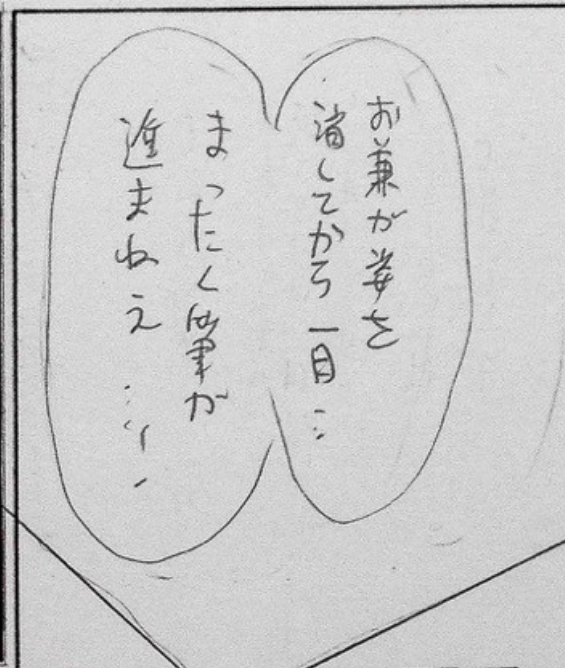
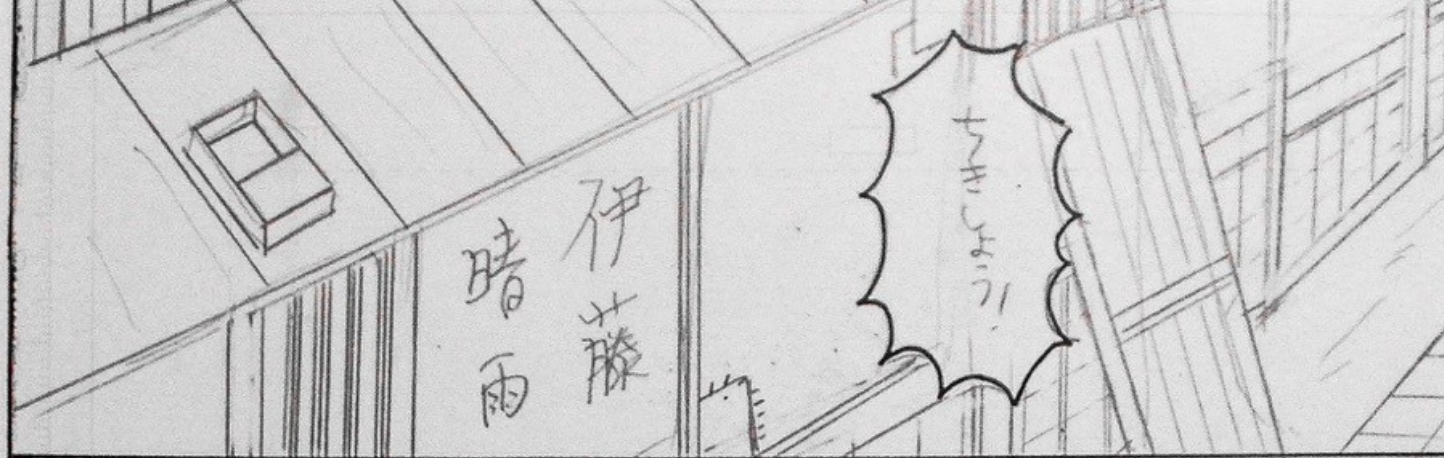
やはり僕の目に
狂いはなかった

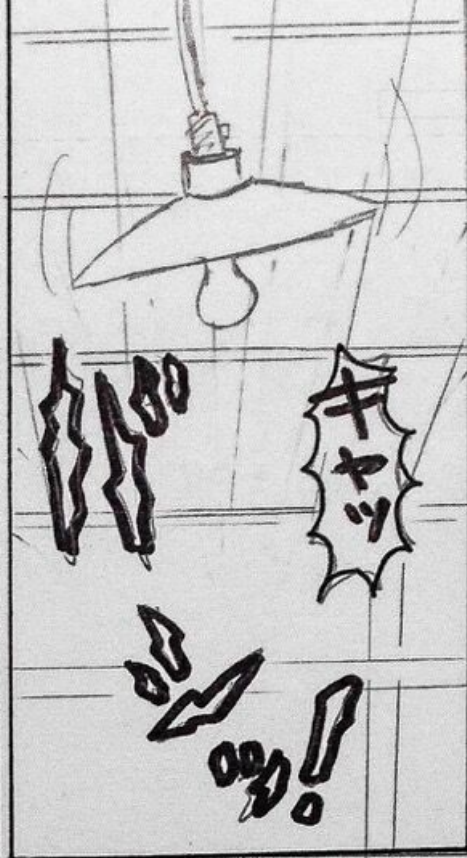
お前は目取市の
素材だよ あき木

こっちを
みるよ……

僕だけの
あき木——

晴雨先生……





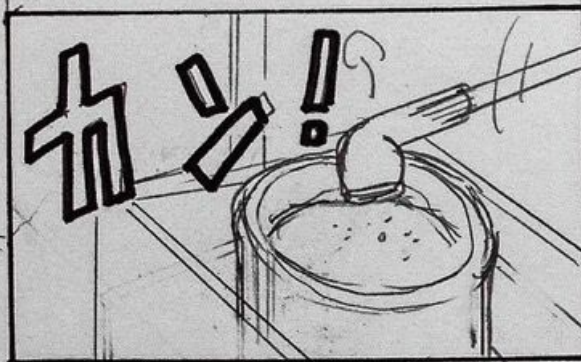


またモデルを探さなきゃ
たまるめえなあ...

おれはもう
たまるめえなあ...



まったく
せいせいすらう



カン!

伊 暗



オウ
へえ
入んな

佐原キセと
申します



キセかニッウは古風だが
島田が似合ってるな

ろ……先生



どうしたイ
縄が痛えかッ

ちがいます、



何だっつー、



もっときつく縛って
いただけませんかッ、

里ノ月

そっ……いやあ前さん
お茶について何か
聞いてやろかい

この女……なぶら
ゆるのがねっから
好きだよ性相……
二リゃあ拾いもんだ



へうは竹久夢二先生と
ヤマトタケルで
お会いしたいです

お嬢さんは



竹久夢二



お兼

ここ
そちらは？



暗雨先生
お久しぶり



伊藤暗雨だ

この方...



初めまして
竹久夢二です

スわした
面をしてるが
ニ同類だな

目を見やば
いかる

相当な
画鬼だ

今は「お茶」って
呼ばれてるの

パパ：夢三先生が
つけてくれたの

お茶葉？

お茶葉とて
時間だよ

あはよ お茶
いや お茶
画鬼から画鬼を
渡り歩くのがお前さんの
業なんだな





サヤ：おめえ

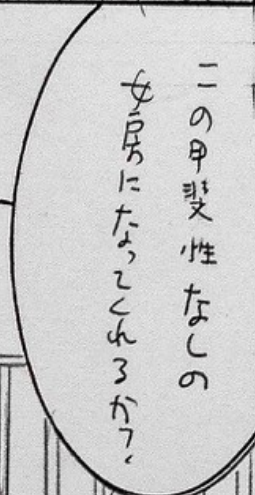


お帰りなさい
お嬢ちゃんに
ごしたかつ



帰ったぞ

伊藤
晴雨



二の甲斐性なしの
女房にならこころかつ



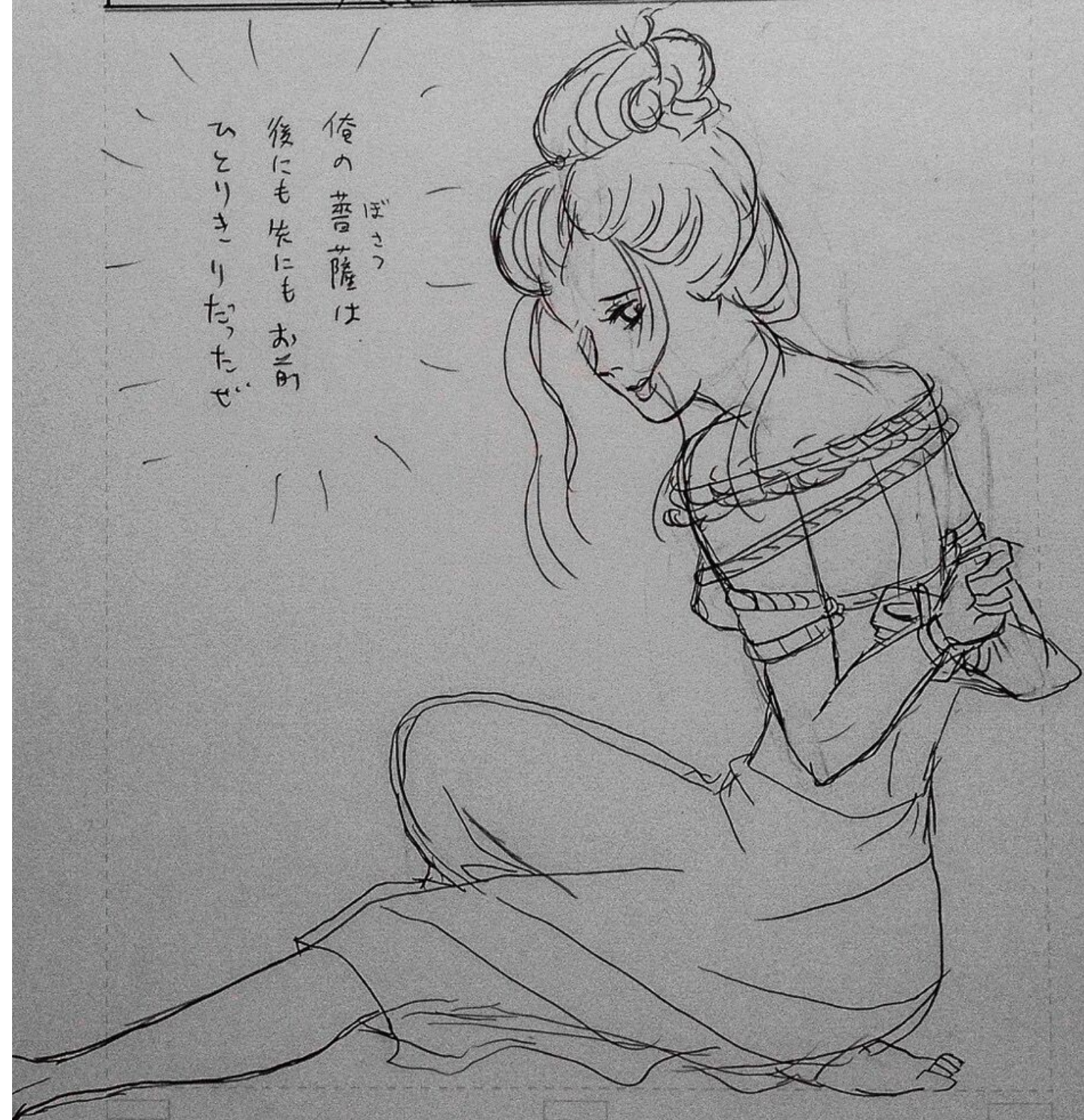
十二 お互に様こそ
ことよ

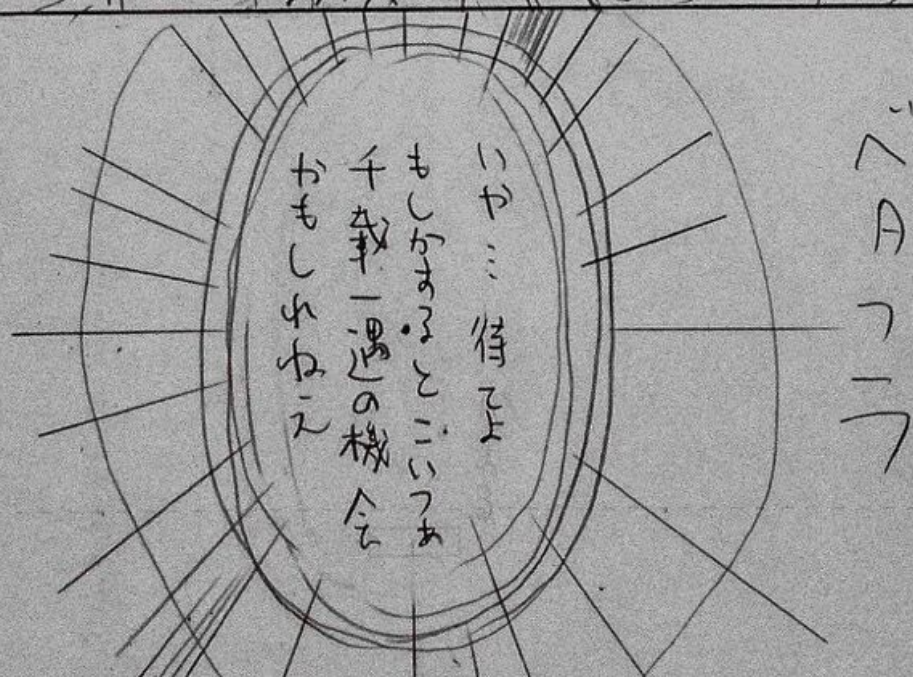
サヤサヤサヤ



ふっつか
ものごうが...

ふん。







暗雨先生
本気でうかう



身重のおかみさん
逆さのやり方にして
模倣をさすふてこそは



キセは承知
しつぷり



この機合も
逃がしてたまる
わてんば

俺あサチ年の
無残絵に憧れて
この世にノッた

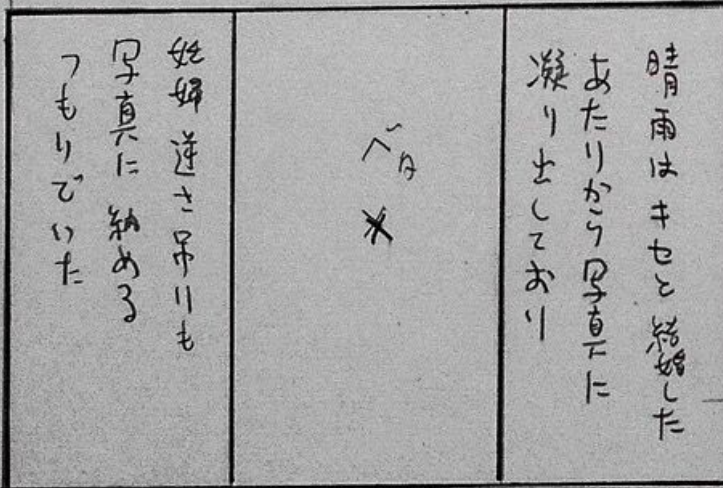
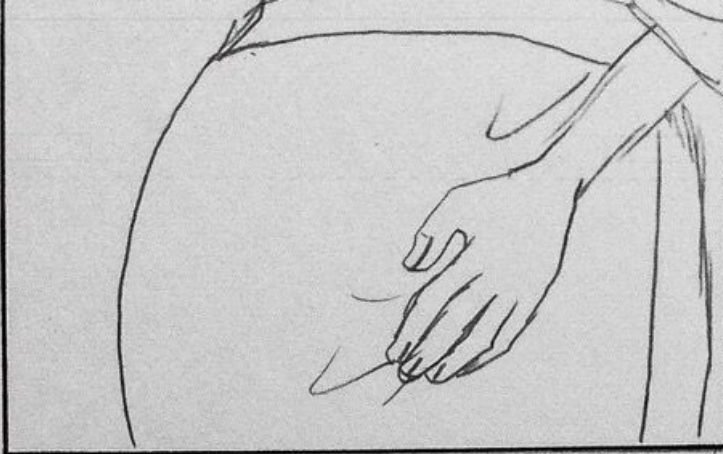


幕末から明治中期
まで活躍した絵師
つぎあかとし
月園サチ年

彼の無残絵ともいわれる
世界を再現するのは
暗雨にとっても念願であった

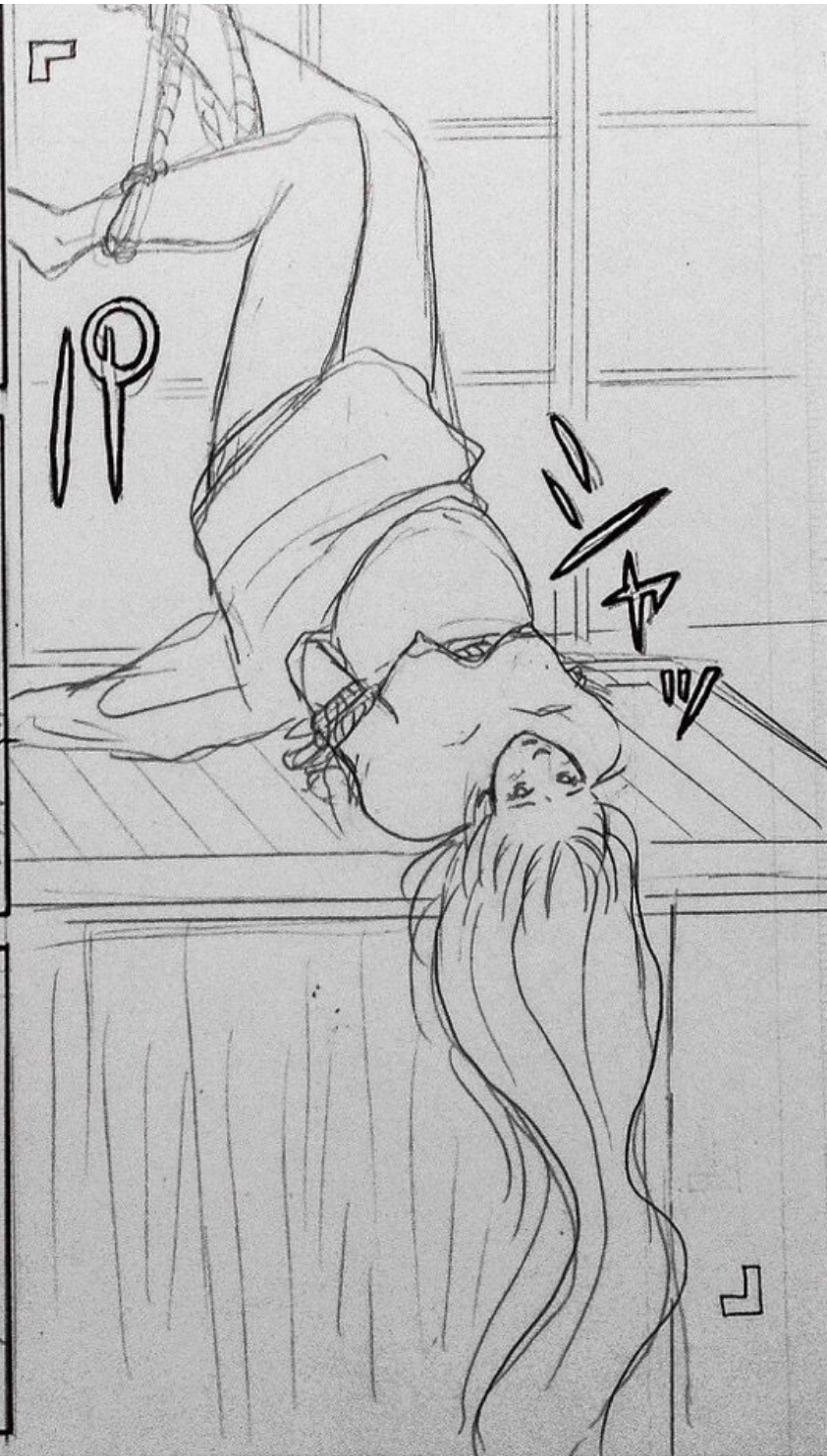
奥州安達がはらひとつ家り園

悠路模す。





その場で現象
してみたがー！



こいつあ
駄目だ！

地獄のサチ生先生に
合ふす顔がねえ！



先生とこが
駄目なんでしょうか！



先生のもの

主君め給のキモの
黒い髪がたうりと下かゝる
ところが撮れてねえ 先生が
枠外におちまうてゐる

ゴクリ...

しかし二枚以上
おかみさんに負担を
かけるわけには...

さんば
立性澤さん

はいはい

キセは耐えられ
ないかい

大丈夫だと
思っていますか...

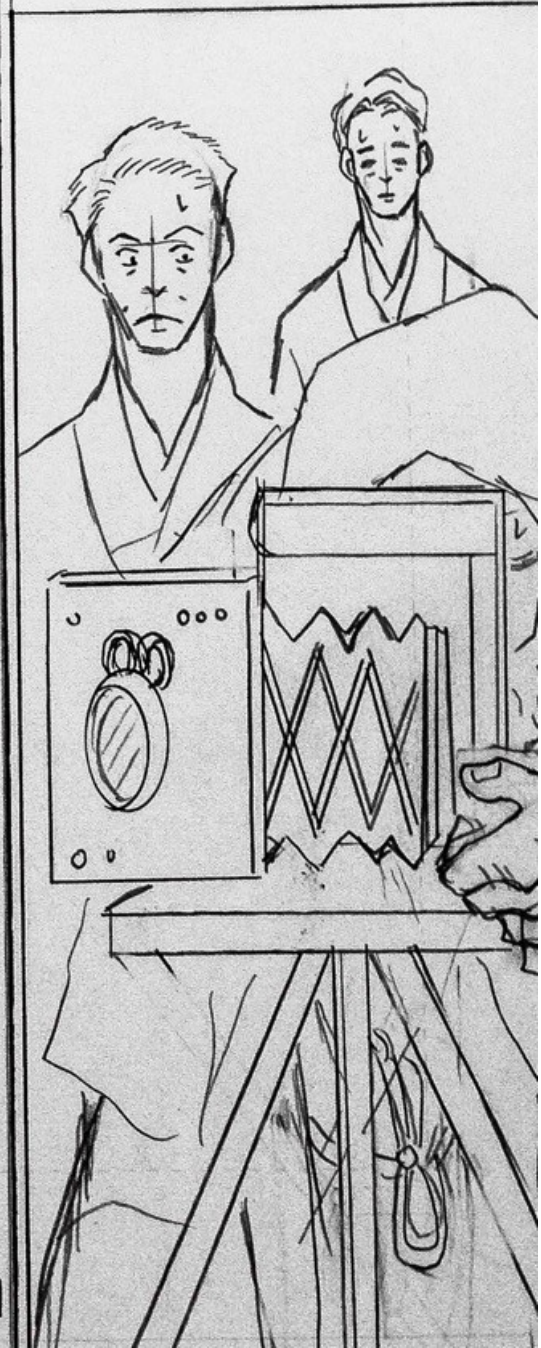
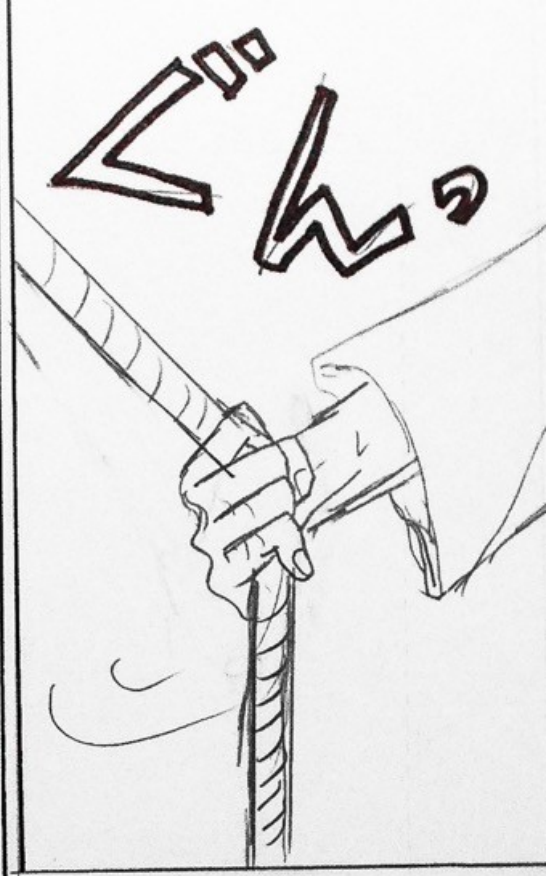
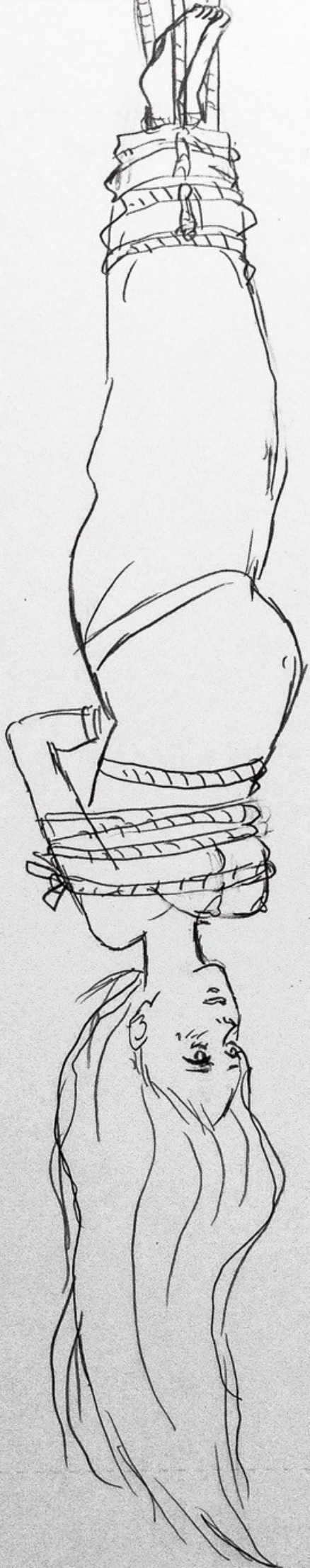
キセ

もうしばらく
こうして
くゆるかいつ

心得て
ますよ

どういふわけで
すまねえかもつ
一遍頼む!

アイツ





後年二の字直へと晴雨が

昔年の弟子に見せたところ

「師匠が見たらどんなにききふす

むろつ」と感激をよたと伝わって

いる

血のトーン

時は大正十年

関東大震災後の

二年間のことである

終劇